準備物 超音波Aモード測定器

超音波測定（Aモード） 例）TOMEY UD－6000

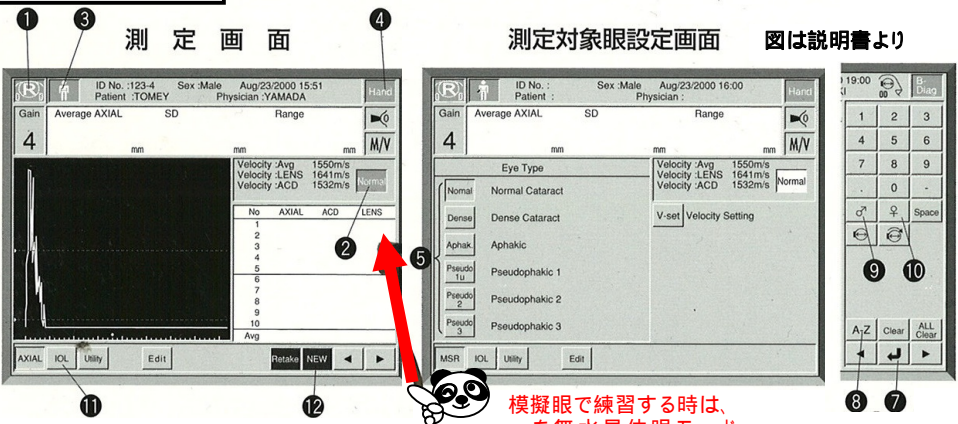
図と文章は説明書より

・眼内レンズ(IOL)の度数決定
・屈折異常の成因解明
・眼球成長の計測

電源をONにし、眼軸長測定機能への切り替え

電源投入後、画像診断画面を表示した場合は、**A/B-Bio切替ボタン**を3秒以上押して眼軸長測定機能に切り換えます。

測定条件の設定

測　定　画　面　　　測定対象眼設定画面　　図は説明書より

- ■測定眼：**測定画面のRight/Leftキー（❶）**を押す度に、「右眼」と「左眼」が交互に設定されます。
- ■測定対象眼：**測定画面の測定対象眼設定キー（❷）**を押して**測定対象眼設定画面**にした後、**測定対象眼キー（❺）**を押して、「Normal」「Dense Cataract」「Aphakic」「Pseudophakic」のいずれかに設定します。
- ■被検者・検者情報：ID番号、被検者名、検者名は、**測定画面のIndexキー（❸）**を押して入力画面にした後、**数字/文字キー（❻）**と**エンターキー（❼）**で入力します。数字キーと文字キーの切り換えは、**切り換えキー（❽）**を押して切り換えます。また、性別は、**♂キー（❾）**と**♀キー（❿）**を押して入力します。
- ■測定方法：**測定画面の測定方法設定キー（❹）**を押す度に、「Hand（手持ち測定/オート測定）」「Chin（アゴ台測定/オート測定）」「Manual（マニュアル測定）」の順に設定されます。
- ■測定モード：イマージョンアタッチメントを使用する場合は、取扱説明書に従ってイマージョンモードに切り換えてください。

測定の準備

眼軸長測定プローブの接眼部を清浄にし、アゴ台測定の場合は被検者をアゴ台に固定します。

測定(Hand／Chin)

（1）角膜を圧迫しないように注意して、眼軸長測定プローブの接眼部を角膜中心に垂直に当てます。
（2）装置は視軸を捉えると、モニター音で知らせます。モニター音が連続して鳴るように、プローブの位置合わせを行います。
（3）モニター音が連続的に鳴り始めたら、装置は自動的にデータの取り込みを始めます。取り込みが終わるまでそのままの状態を維持してください。
（4）長い取り込み音がしたら測定は終了です。眼軸長測定プローブを被検眼から離してください。チッチッチチーンという感じで10回測定。
（5）引き続き他眼を測定する場合は、測定終了画面の**Right/Leftキー（❶）**を押して測定眼の設定を切り換えます。また、必要に応じて測定条件の変更も行ってください。（「2 測定条件の設定」参照）

プリントアウト

すぐにパワー計算する場合。

プリントボタンを押して、測定結果をプリントアウトします。引き続きIOLパワー計算を行う場合は、**IOLキー（⓫）**を押してIOLパワー計算機能に切り換えます。（「IOLパワー計算」参照）

次の被検者の測定

次の被検者を測定する時は、必ず**NEWキー（⓬）**を押して、前の被検者の測定データや設定を消去してください。

約1秒（結構長い）

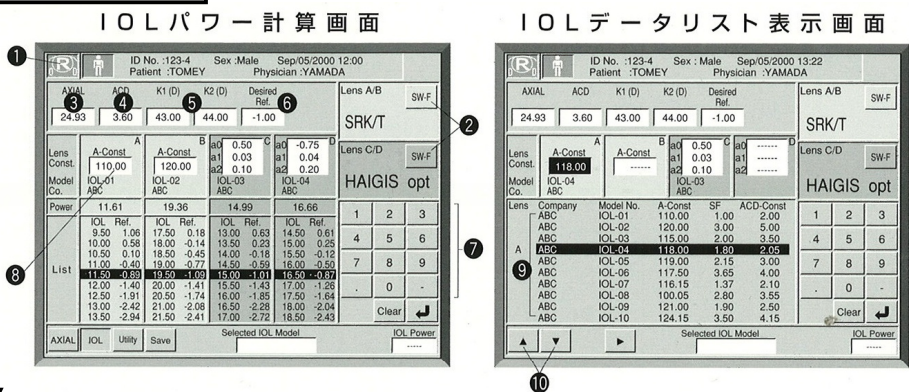
電源OFF

眼軸長測定プローブは清浄にした後、プローブホルダーに戻しておいてください。

電源をONにし、IOLパワー計算機能への切り替え

電源投入後、眼軸長測定画面を表示した後、**IOLキー**（「眼軸長測定」の⓫）を押してIOLパワー計算機能に切り換えます。

計算条件の設定

ＩＯＬパワー計算画面　　ＩＯＬデータリスト表示画面

- ■対象眼：**IOLパワー計算画面のRight/Leftキー（❶）**を押す度に、「右眼」と「左眼」が交互に設定されます。
- ■計算式：**IOLパワー計算画面の計算式設定キー（❷）**を押す度に、計算式が順に設定されます。
- ■レンズ定数：レンズ定数は、事前に登録する必要があります。取扱説明書に従って登録を行ってください。
- ■被検者・検者情報：眼軸長測定画面で入力を行います。（「眼軸長測定」の2 測定条件の設定を参照）

計算データの入力

■眼軸長(AXIAL)／前房深度(ACD)／角膜屈折力or角膜曲率半径(K1/K2)／術後の期待眼屈折力(Desired Ref.)

入力部分（❸、❹、❺、❻）を押して白黒反転表示に切り換えた後、**数字キー（❼）**で入力し、再度**入力部分（❸、❹、❺、❻）**を押して確定します。眼軸長測定後直ぐに計算を行う場合は、既に眼軸長(AXIAL)には測定結果が入力されています。

■レンズ定数(A-Constant/SF/a0･a1･a2)

計算式に対応したIOLの各種レンズ定数を、直接入力する方法とIOLデータリストから選択する方法のいずれかにより入力します。
（1）直接入力
レンズ定数キー（❽）を押して白黒反転表示に切り換えた後、**数字キー（❼）**で入力し、再度**レンズ定数キー（❽）**を押して確定します。
（2）IOLデータリストからの入力
レンズ定数キー（❽）を押して**IOLデータリスト（❾）**を表示させた後、**IOL選択キー（❿）**で選択し、再度**レンズ定数キー（❽）**を押して確定します。

計算

計算データを全て入力すると、自動的に計算が行われ結果が表示されます。

記録

プリントボタンを押して、計算結果をプリントアウトします。引き続き他眼を計算する場合は、**IOLパワー計算画面のRight/Leftキー（❶）**を押して対象眼の設定を切り換えます。また、必要に応じて計算条件の変更も行ってください。（「2 計算条件の設定」参照）

電源OFF